

(118)

と混乱。(ロ) 女子の大学教育に対する世論が一定していない。したがって大学教育を卒った後家庭人としての女子の在り方との結合の不安感。かくして、(ハ) 生徒(子供)と父兄との生活観の喰違いによって進路決定過程にかなりはゆい曲折があることが知られた。これは転換期の著しい特色である。

## 東京都内公立幼稚園教諭並びに

### 保育所保育の生活時間について

お茶の水大学 平井信義

#### 1. 目的

戦後に於ける女子の職業進出に伴い、幼児保育に当る者が特に注目されているが、その生活実態について幼稚園教諭並びに保育所保育の *Time Study* を調べ、併せて両者の差異を明らかにする事を目的とした。

#### 2. 調査の方法

学研社会科学研究室寮、生活時間調査表を用いて自己記入した。

3 調査人員 幼稚園教諭 75名、 保育所保育 56名、

4 調査期間 昭和28年6月2日～23日の間

#### 5. 結果

(A) 1日の生活時間の割合と消費エネルギーについて。①1日の活動時間は殆んど同じである。②1日の消費カロリーは幼稚園教諭 2056.4 cal、保育所保育 2108.4 cal である。③勤務時間は保育所が約1時間多い。④事業所内勤務中の単位時間消費エネルギーは幼稚園教諭 97 cal、保育所保育 103 cal である。

(B) 勤務中の仕事内容別消費時間、勤務中の消費エネルギーの多い者から各5名、少ない者から各5名、計20名を選び仕事の内容別に時間を計した。結果は次表の通りである。

	子供に直接接している時間	保育準備	勤務所の仕事(事務会合)	手洗、食膳、休憩	合計
(A) 幼稚園教諭の消費エネルギー-多い者	301	136	276	52	764
(B) " 少ない者	224	52	157	80	513
(C) 保育所保育の消費エネルギー-多い者	507	77	80	61	725
(D) " 少ない者	417	42	65	53	577

(単位 = 分)